

学校だより【特別号】

たまがわ

厚木市立玉川小学校
校長 高澤 崇

児童数 162人
(125家庭)

平成31年3月11日

平成30年度 学校評価のご報告

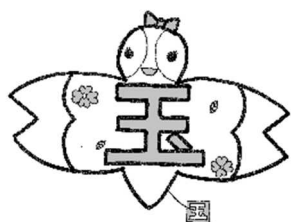
校長 高澤 崇

春暖の候、保護者の皆様には日頃から学校教育にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本校では、平成30年度の「ひびきあう学校づくり」について、保護者・地域・児童・教職員のアンケート集計を整理・分析し、来年度に向けての課題の整理と改善策の立案を学校運営グループごとにまとめました。また、平成31年2月28日に開催した学校運営協議会※において、学校関係者評価を実施しました。これらのことをまとめ、学校だより特別号としてみなさまにお届けします。

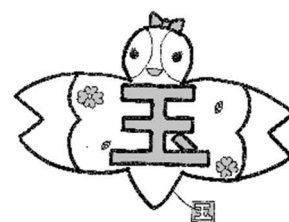
保護者アンケート「玉川小学校の教育についての評価」では、ほぼ全家庭にご協力いただき、保護者の皆様の本校の教育への関心の高さを実感しました。いただいたご意見をもとに、来年度に向け、子どもたちのよりよい学校生活のための改善を図ってまいります。なお、いただいたご意見や提案についての学校の考えについても掲載しました。

保護者の皆様のご協力により、学校評価が円滑にできましたことを感謝申し上げます。



「玉川小学校の教育についての評価」

ご協力ありがとうございました



※学校運営協議会

本校では、保護者や地域の方が「学校の応援団」として学校運営に参画する学校運営協議会制度を今年度導入し、コミュニティ・スクールとなりました。コミュニティ・スクールを支える学校運営協議会委員は次のとおりです。

- ・PTA会長
- ・玉川公民館館長
- ・玉川地区自治会連絡協議会会長
- ・玉川地区青少年健全育成会連絡協議会役員
- ・民生児童委員
- ・玉川せんみ風保存会会長
- ・しあわせクラブ会長
- ・学識経験者
- ・校長
- ・教頭
- ・総括教諭（3人）

【 ひびきあう心 】

仲間を大切にし、活動に積極的に取り組む児童の育成

○成果 ●課題 →改善策

【居心地の良いクラスづくり】 【個に応じた支援の充実】

- 学校生活アンケート・いじめアンケートをもとに、教師と児童との個別面談を実施することで、児童理解につながり、学級経営に役立てることができた。児童・保護者アンケートからも概ね楽しい学校生活を送れていることが見て取れる。
- 人権旬間における取組（人権映画教室、いのちの授業、人権移動教室、「いいね！すごいね！すてきだね！」等）は、児童に自他の命の大切さを意識させることに有効であった。
- 外部機関との連携を密にし、その専門的な助言を児童指導や児童支援に生かすことができた。
- 授業中の児童の様子について、担任や教科担当以外の教師にとっては把握しにくい。
- 「学校生活が楽しくない」と困り感を抱えている児童もいる。
 - 道徳、外国語等の授業で交換授業を実施し、様々な教師と児童との関係づくりを進めるとともに、児童理解に役立てる。
 - 校内での会議や関係諸機関との連携を通して、困り感を抱えている児童の理解に努めるとともに、「学校生活が楽しい」と思えるように支援を継続していく。
- 地域の人や先生に対する児童のあいさつがもっとひびくとよい。
 - 児童会のあいさつ運動、PTAのあいさつ運動、校長・教頭の登校中の見守り活動を継続するとともに、児童会を中心として、児童が主体的にあいさつをできるような取組を検討していく。

【主体性を育む児童会活動】

- 児童会の企画によって生まれた「玉小キャラクターせんみちゃん」は、「玉川フェスタ」を盛り上げていた。今後も、児童会を中心として、児童の主体性、創造性を発揮できるようにしていきたい。
- 「異学年交流をもっとしたい」という児童からの要望により、清掃班による縦割り遊びを企画したところ、児童にとっても好評だったので、異学年交流の機会を増やしていきたい。
- 委員会活動の時間が月に一度、昼休みに設定されているため、活動時間が短く、創意工夫した活動につなげにくい。
 - 来年度は、月に一度木曜日の6校時を委員会活動の時間とする。各委員会ごとに特色のある児童主体の活動を組み立て、高学年を中心としてよりよい玉川小学校をつくりあげていく意識を高めていく。

【学校関係者評価(コメント)】

- ・あいさつは、おわりのないテーマであり、社会に出て仕上がっていくもの。小さく聞こえても目を見てくれる子、声のない子、積極的な子等いるが、子どもの個性ととらえている。こちらの気持ちは受け止めてくれていると感じている。
- ・大人が率先して声をかけることが大切。4月はもじもじしていたが、最近返してくれる子もいる。
- ・子どもは、適応力があるから心配はしていない。あいさつは、家庭が基本なので、「いってきます」「いってらっしゃい」等、家庭でも日々のあいさつを大切にしていけるとよい。

【 ひびきあう学び 】

学習意欲を高める指導の工夫

○成果 ●課題 →改善策

【基礎学力の定着】

○話の聴き方など、学習の約束について、徐々に定着が見られてきた。今後も指導の継続をしていく。

→「玉川小スクールライフ」を発行し、学習や生活についての児童・保護者・教師間の共通理解を図り、指導に役立てていく。

●チャレンジルームは、昼休みに遊びたい児童にとって意欲をもたせにくく、基礎学力の定着に向けての運用について課題がある。

→チャレンジルームは取りやめ、漢字検定教室やタブレット教室を定期的実施する。また、朝のスキルタイムに漢字や計算の反復練習を行う。

【わかる授業・楽しい授業】

○「豊かな心を育むふれあい教育～コミュニケーション能力の育成を通して～」をテーマとして、外国語活動・外国語を主として校内研究に取り組んだ。授業研究や研修会を通して、学習指導における教師のスキルアップを図ることができた。

●「自分の考えを表現する」ことに自信をもてない児童が多い。

●学力学習状況調査では、「空欄回答」が多く見られた。既習の知識や技能を活用する力は、低学年からの積み上げが必要である。

→普段の授業で、既習事項や経験したことを根拠として自分の考えをもたせ、表現する機会を設け、お互いに学びあうことで思考力を高めさせていきたい。そのために、教材研究・授業づくりを充実させていく。

【家庭学習の習慣化】

○どの学年も家庭学習の習慣は徐々に身につけてきているので、さらに充実したものにしていきたい。

●保護者アンケートでは、家庭学習について自主的に取り組むことに課題がある、という回答が多く寄せられた。

→学年ごとに家庭学習の充実につながる学年便りや学級便りを発行し、学校・保護者共通理解のもとに家庭学習を推進していく。家庭学習を充実させることで、児童の学習意欲を喚起させていきたい。

【学校関係者評価(コメント)】

- ・「自分の考えを表現する」ことへの学校側からのフォローに期待したい。実態を把握して、表現する機会をもたせることが大切だろう。
- ・せんみ風の授業では、6年生がしっかりと学習に取り組んでいたことが印象的だ。
- ・家庭学習についての働きかけは難しい。子どもによっても、家庭によっても違う。家の人が求めているものが高いのかもしれない。
- ・ある中学校では、毎日課題と週末課題と2種類出している。週末課題の方が提出率が良いそうだ。自分で工夫して学習する面白さがあるのだろう。

【 ひびきあうこだま 】

人や自然とのかかわりを大切にする活動の充実

○成果 ●課題 →改善策

【豊かな自然を生かした活動の充実】 【人との関わりを生かした活動の充実】

- 農業体験活動は、地域の人々の協力によって支えられている。収穫した野菜や米は、今年度は、親子ふれあい活動で調理・試食することで、収穫の喜びを共有することができた。
- 「農業体験・自然体験活動」「地域・外部指導者の教育活動導入」「ひらかれた学校づくり」は、保護者・地域・学校が一体となって進められており、本校の特色となっている。この取組は、PTAの活動研究大会でも報告され、好評を博していた。今後も、コミュニティ・スクールとしての機能を発揮していきたい。
- 農作物を栽培する必然性をもたせ、児童が主体的に取り組めるようにしたい。
→農作物を精選し、調べ学習や観察・手入れを充実させていく。また、その過程をまとめ伝える活動を通して、思考力・判断力・表現力の育成を図りたい。

【安全教育の推進】

- 避難訓練、交通安全教室や、携帯電話教室は、児童の安全意識を高めることに有効だった。
- 7月に行った「非行防止教室」には、多くの保護者の参加があった。今後も学校と家庭で連携し、児童が犯罪被害に合わないよう、危機意識を高める取組を推進したい。
- 廊下の歩き方、道路の横断、歩道の歩き方など繰り返し指導はしているが、なかなか定着しない。継続指導が必要である。
→廊下歩行（右側通行）について全職員共通理解のもと、徹底していく。
→一斉下校の時に、歩道の歩き方や交通ルールの確認を継続するとともに、高学年がルールを守る見本となるよう指導する。
→児童の安全のための通学路の整備について、自治会、PTAと連携した取組を継続していく。
- 自転車用ヘルメットを着用せずに自転車を運転している児童がまだ多い。
→「自転車用ヘルメット着用は保護者の義務」として、保護者に協力を求めるとともに、児童に声かけをしていく。

【特色ある教育と情報発信（小規模特認校）】

- ホームページは、一日一回、更新できるように取り組んでいる。アクセス数や保護者アンケートから、児童の学校生活の様子について関心をもっていただいていることがわかった。ホームページのさらなる充実を目指していきたい。

【学校関係者評価（コメント）】

- ・農業体験は、安全が基本。興味・関心を持たせるよう心がけ、継続していきたい。
- ・新年度に打ち合わせをもちたい、という学校側の提案に賛成したい。お互いにコミュニケーションをとりながら、子どもにとって、より良い活動になるようにしていきたい。
- ・通学路の安全について、自治会・保護者・学校で連携しながら、より安全な通学路を選択できたことは成果である。
- ・自治会の働きかけにより、七沢地区の歩道が広がった。より安全に登下校してほしい。
- ・災害時に、奨学橋・西門橋が被害を受けると玉川小は陸の孤島になってしまう。そうならないためにも、陸路の再整備も必要である。

平成30年度 玉川小学校の教育についての評価【保護者アンケート集計】

「評価」は、1～4の4段階評価の平均値です。評価が3.0未満の場合は「課題がある」と考えています。

評価項目		評価	達成率
1	お子さんは、明るく楽しい学校生活を送っていると思いますか。	3.4	86 %
2	本校の児童は、あいさつがよくできていると思いますか。(登下校・来校時等)	3.0	75 %
3	個に応じた支援の充実を図るために、学校の教育相談体制は整っていると思いますか。	3.1	77 %
4	本校の児童には、縦割り班活動(清掃等)や児童会活動(委員会活動、玉川フェスタ等)を通して、自主性や責任感が育っていると思いますか。	3.3	82 %
5	お子さんは、基本的な生活習慣(きまりや時間を守る、身の回りの整頓、学習準備をする等)が身についていると思いますか。	3.0	75 %
6	本校の児童は、先生や友だちの話を聞こうとしていますか。 (授業参観等の様子を見てお答えください)	3.3	82 %
7	本校の児童は、授業に参加しようとしていますか。 (授業参観等の様子を見てお答えください)	3.3	83 %
8	お子さんは、進んで家庭学習に取り組んでいますか。 (自主学習、宿題、マイチャレ(3年生以上)など)	3.1	77 %
9	お子さんは、学校で学んだことを話したり、生活の中で活用したりしようとしていますか。	3.2	79 %
10	学校は、教育活動の様子やいろいろな情報等について、学校だよりやホームページ等で、保護者にわかりやすく伝えていると思いますか。	3.5	86 %
11	学校は、農業体験活動や自然体験活動を教育活動に生かしていると思いますか。	3.7	92 %
12	地域や外部からの指導者を教育活動に積極的に導入していると思いますか。	3.6	89 %
13	保護者や地域とのコミュニケーションを大切にし、ひらかれた学校づくりができていると思いますか。	3.5	87 %
14	本校の児童は、安心して安全な学校生活を送ることができていると思いますか。	3.3	82 %
15	教職員は、子ども一人一人を大切にしながら指導していると思いますか。	3.3	84 %

□よく当てはまる □当てはまる □あまり当てはまらない ■当てはまらない

1	明るく楽しい学校生活	45%	53%	3%
2	あいさつ	15%	68%	17%
3	教育相談体制	17%	75%	7%
4	特別活動を通じた 自主性・責任感の育成	34%	62%	3%
5	基本的な生活習慣	21%	61%	17%
6	話を聞くこと	32%	63%	5%
7	授業への参加	37%	60%	3%
8	家庭学習	25%	59%	12%
9	既習の活用	30%	56%	12%
10	学校の情報発信	48%	49%	3%
11	農業体験活動 自然体験活動	67%	33%	
12	地域・外部指導者の導入	61%	35%	4%
13	ひらかれた学校づくり	48%	50%	1%
14	安心・安全な学校生活	36%	58%	5%
15	教職員の指導	39%	57%	3%

保護者・児童アンケートを整理・分析し、学校運営グループごとの成果と課題、改善点について、3～5ページにまとめてあります。

【学校の教育相談体制について】

「個々に先生と話せる機会があるとうれしい」「あまり生かされていないと感じる」等の記述がありました。また、「不明」と回答する方も多くいました。

学校では、常時相談を受け付けています。いつでもご来校、お電話ください。また、週2回「元気アップアシスタント（相談員）」が来校し、児童や保護者の相談を受け付けています。また、月に1～2回「スクールカウンセラー」も来校し、保護者の相談にのっています。どちらも養護教諭が予約の窓口となっています。お気軽にご相談ください。

	質問	はい	どちらとも いえない	いいえ
1	学校は楽しいですか。	75%	22%	3%
2	友達に優しくしたり、協力したりしていますか。	84%	15%	1%
3	自分からあいさつをしていますか。	72%	22%	5%
4	違う学年の子と話したり、仲よくなったりしていますか。	83%	15%	3%
5	先生の話を勉強がわかりますか。	87%	10%	3%
6	よい子のめあてやルールを守って学習に取り組んでいますか。	74%	24%	2%
7	宿題やマイチャレに毎日取り組んでいますか。	82%	14%	4%
8	自然とふれあう活動（畑や田んぼでの活動など）は、楽しいですか。	81%	19%	1%
9	学校に地域の人やおうちの人に来て、学習したり、活動したりするのは、楽しいですか。（例うどん作り、豆腐づくり、福祉体験、収穫祭、せんみ風、感謝のつどい）	79%	15%	6%
10	安全に気を付けて、登下校していますか。	82%	15%	3%

教育活動を通じて子どもたちに身につけてもらいたい資質・能力等

教育活動を通じて
子どもたちに身につけてもらいたい資質・能力等

	H30	H29
1 健康・体力	29	27
2 自主性・積極性	51	42
3 勤労・美化・奉仕の心	9	13
4 知識・技能	3	6
5 思考力・判断力・表現力	55	58
6 学ぼうとする意欲	23	31
7 責任感	13	15
8 基本的な生活習慣	9	10
9 ルールやマナーを守る態度	34	38
10 豊かな感性	14	10
11 思いやり・協力する心	80	80
12 コミュニケーション能力	27	27

「思いやり・協力する心」

人にやさしく接し、相手の立場に立ち協力することの大切さを身に付ける人間教育の重要性を感じます。

「思考力・判断力・表現力」

これからの時代を生き抜くために選択された方が多かったようです。学校としても確かな学力を身に付けるための授業改善や発達段階に応じた目指す姿を明確にして取り組んでいきたいと考えています。

「自主性・積極性」

いろいろなことにチャレンジし可能性を伸ばして欲しいという保護者の方の思いが伝わります。

よりよい玉小にするための提案意見…保護者・地域

・学校運営協議会の協議内容や決定事項を発信してほしいです。

→学校運営協議会へ関心を寄せてくださり、ありがとうございます。学校運営協議会は、地域住民・教職員 13 人の委員で運営し、今年度は 3 回協議会を開催しました。「学びを深める部会」「地域で育てる部会」に分かれ、学校地域ネットワークの形成と学校運営への助言を行っています。協議内容や決定事項について、学校ホームページや学校だより等で発信していきますので、ぜひご覧ください。

・登下校時の地域ボランティアの見守りや非常時の先生の付き添いなどで安心して学校に通えています。保護者も登校班の見守りをがんばりたいです。

→いつも見守りありがとうございます。今後も、登下校時の子どもたちの見守りについてご協力をよろしくお願いします。また、安全な登下校について学校でも指導していきますので、ご家庭におきましても、声かけをよろしくお願いします。

・高齢者や障がいをもつ方とのふれあいを通じた活動を取り入れることで、人間関係を築く上での学びが得られると思います。

・公共施設の慰問等、奉仕活動を取り入れたらどうでしょうか。

→貴重なご意見をありがとうございます。本校では、4 年生の総合的な学習の時間で「福祉学習」に取り組んでいます。高齢者の疑似体験や車いす体験等をしたり、目の見えない方からお話を聞いたりして、「共に生きる」ことについて学習しています。今後も継続していく予定です。

→クラブ活動で保育所訪問を今年度実施しました。また、卒業間近の 6 年生は、学校への恩返しとして、校内をきれいにする奉仕活動に取り組んでいます。

→このような活動について、学校から情報を発信していきたいと思います。

・小規模特認校制度で在校生を増やす方法として、オープンスクールなどを企画してみてもどうでしょうか。

→小規模特認校制度が始まり、3 年目となり、全校の 1 割の児童がその制度を利用しています。今年度は、1 学期に厚木市のホームページやチラシで見学可能な学校行事を紹介したところ、興味をもたれた方がご来校くださいました。見学も随時受け付けています。玉川小に関心のあるお知り合いの方がいらっしゃいましたら、お声をかけてくださるとありがたいです。

・農業体験は、働くことの大切さ、協調性や社会性を育む観点から意義のある教育の一環。子どもたちが興味をもって、楽しく体験できるよう指導法を工夫していきたいと思います。

→いつもご指導ありがとうございます。子どもたちの学びのために、私たち教職員も指導の工夫をしていきます。

そのほかにも、「うどんづくり」「クラブ活動」「体験学習」「縦割り活動」「学校行事」等について、提案意見をいただきました。これらのご意見も参考にしながら、学校運営に生かしていきたいと考えます。